

- 問1 鎌倉時代、源頼朝が全国の荘園や公領の管理・年貢徴収をさせるために設置した役職を何という？
- 問2 十字軍の遠征が活発に行われた時期は、日本の歴史ではどの時代にあたる？
- 問3 鎌倉時代、将軍が御家人に対し、本領を安堵したり新領地を与えたりすることを何という？
- 問4 北条泰時が制定した御成敗式目の別称で、制定された年号に由来する呼び名を何という？
- 問5 鎌倉時代に栄西によって伝えられ、曹洞宗とともに武士から厚い支持を受けた禅宗の宗派を何という？
- 問6 承久の乱の後に、京都で朝廷の監視や西国の統治を行う六波羅探題を設置した人物は誰？
- 問7 浄土真宗で重要視された、自分の修行力ではなく、阿弥陀仏の力によって救われるという考え方を何という？
- 問8 後鳥羽上皇が鎌倉幕府の打倒をめざして挙兵し、幕府軍に鎮圧された「承久の乱」が起こったのは何年？
- 問9 鎌倉時代後期に時宗を開き、全国を回りながら布教活動を行った僧は誰？
- 問10 武士が主従関係において、自分の仕える相手のことを何という？
- 問11 鎌倉幕府が京都の監視や西国の統治を目的として設置した機関を何という？
- 問12 琵琶法師によって語り継がれた、平氏一族の栄枯盛衰を描いた軍記物語を何という？
- 問13 鎌倉時代に臨済宗を日本に伝えた僧侶は誰？
- 問14 鎌倉時代後半、分割相続によって領地が細分化し、経済的に苦しくなった状態を何という？
- 問15 鎌倉時代に制定された、武士社会の決まりごとや裁判の基準を何という？
- 問16 鎌倉幕府において、将軍と主従関係を結び、軍事や行政の実務を担った武士を何という？
- 問17 法然が庶民に信仰を広めた、死後の安らかな世界を何という？
- 問18 モンゴル帝国が建国されたのは、日本ではどの時代にあたる？
- 問19 モンゴル帝国が中央アジアから支配下に置いた、西側の地域はどこ？
- 問20 鎌倉時代に広まった仏教の新しい宗派の一つで、ひたすら座る修行を行うことを重視した宗派を何という？
- 問21 鎌倉時代に日蓮が唱えた「題目を唱えるだけで救われる」という教えにより、支持を集めた対象となった人々を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 地頭	1185年、頼朝は朝廷から各地への「地頭」の設置を認めさせました。地頭は、荘園や公領において年貢の取り立てや、土地の管理・警察的な役割を担いました。これにより、幕府の権力が全国各地に及ぶようになり、武士が実質的な地方支配の主役となりました。
問2	答え 鎌倉時代	十字軍が始まった1095年は日本で院政期（平安時代末期）にあたりますが、戦いが本格化した12世紀から13世紀にかけては、ちょうど鎌倉幕府が成立し、発展していく時期にあたります。
問3	答え 御恩	御恩は、主従関係の基盤であり、将軍が家臣（御家人）に対して「本領安堵（もともとの領地を認める）」や「新恩給与（手柄に応じて新しい土地を与える）」を行うことです。これに応じて御家人は奉公を行うというセットの仕組みにより、幕府は全国の武士を統率していました。
問4	答え 貞永式目	制定された1232年の元号が「貞永」であったため、御成敗式目は「貞永式目」とも呼ばれます。特に、守護の権限を警察・裁判権に限定する「大犯三箇条」などが規定され、御家人の権利を守る内容が含まれていました。
問5	答え 臨濟宗	臨濟宗は、宋が中国（宋）から日本に伝えた禅宗です。座禅を通じて自分自身を見つめ直し、悟りを開くことを目的とします。座禅の際に問いかけを用いる「公案（こうあん）」という独特の修行方法があるのが特徴です。
問6	答え 北条泰時	北条泰時は、北条義時の長男として活躍し、乱の直後に京都に六波羅探題を設置して政治基盤を固めました。また、武士の習慣に基づく日本初の武家法典『御成敗式目』を制定し、公平な裁判の実現に努めました。
問7	答え 他力本願	他力本願は、自分の力で行う修行（自力）に頼るのではなく、すべてを阿弥陀仏の力（他力）に任せて救いを求める考え方です。親鸞はこの姿勢こそが真の信仰であると説き、出家せずただ念仏を唱えるだけで救われる道を提示しました。
問8	答え 1221年	1221年、後鳥羽上皇が中心となって起こしたのが承久の乱です。これに対し、幕府は北条政子の演説で御家人を結束させ、京都へ軍勢を送りました。幕府軍の勝利は、それまで優位であった朝廷が武家に完全に屈服したことを意味しました。
問9	答え 一遍	一遍は「時宗」を開き、踊り念仏を行いながら全国各地を巡りました。彼は特定の寺院に留まらず、諸國を旅しながら念仏の札を配ることで、階層を問わず多くの民衆に浄土への信仰を説きました。
問10	答え 主君	主君は、鎌倉幕府においては将軍であり、家臣である御家人に対して領地の保護（御恩）を保証する存在です。御家人は、この主君のために命をかけて戦ったり、警備などの務め（奉公）を果たしました。この強固な関係性が、鎌倉幕府を維持する大きな力となっていました。
問11	答え 地方行政機関	1221年に六波羅探題が置かれ、そこには北条氏の一族が就任しました。単なる軍事施設ではなく、朝廷との交渉、京都の治安維持、西國の御家人の統率といった行政・司法の役割を担いました。
問12	答え 平家物語	『平家物語』は、平清盛をはじめとする平氏一族の栄華と、源氏との戦いによる滅亡を描いた作品です。「祇園精舎の鐘の声」という有名な一節があるように、世の中の無常さを説く「無常観」が根底に流れています。
問13	答え 栄西	栄西は二度中国へ渡り、そこで修行して帰国後に臨濟宗を伝えました。彼は座禅によって悟りを開くことを説き、武士たちの間に広く支持されました。また、宋からお茶の種を持ち帰ったことでも有名です。
問14	答え 困窮	限られた土地からの収穫だけでは、幕府への奉公や軍役の準備、生活費を賄うことが困難になり、多くの御家人が借金をして苦しい生活を送るようになりました。
問15	答え 武士社会の慣習	それまで武士の間で行われてきた「武士社会の慣習」を基に、裁判の基準が文章化されました。それ以前の京都の朝廷が用いていた律令は、貴族社会には適していても、土地に執着する武士の日常的な紛争を解決するには複雑すぎました。そのため、公平で分かりやすいルールが求められたのです。
問16	答え 御家人	御家人は、将軍から領地を安堵される「御恩」を受ける代わりに、戦時の軍役や京都・鎌倉の警備といった「奉公」を義務付けられました。彼らは幕府の制度を支える重要な存在であり、北条氏などの有力御家人は幕府の政治運営においても中核を担いました。
問17	答え 浄土	浄土とは、阿弥陀仏が治める、迷いや苦しみから解放された極楽世界のことを指します。法然は、この浄土へ生まれ変わることを願い、ひたすら念仏を唱えることが重要だと説きました。この信仰は、現世の不平等に苦しむ人々にとって、唯一の救いとしての意義を持っていました。
問18	答え 鎌倉時代	チンギス・ハンはモンゴル帝国を建国し、強力な騎馬軍団を率いて次々と周辺地域を征服しました。この動きは、後の鎌倉幕府がモンゴルの襲来（元寇）を受けるという歴史的な接点へとつながっていきます。
問19	答え ヨーロッパ東部	モンゴル帝国の支配はアジアにとどまらず、西へ大きく拡大しました。中央アジアを経て、東ヨーロッパにまで達しました。これにより、ユーラシア大陸の東西をつなぐ広大な支配圏が確立されました。
問20	答え 曹洞宗	曹洞宗は、宋から帰国した道元が日本に伝えた宗派です。特定の経典や修行にとらわれず、ただひたすらに座禅を組む「只管打坐（しかんたざ）」を修行の中心に置きました。この教えは、地方の武士や農民にも広く浸透していきました。
問21	答え 民衆	日蓮の教えは、難しい書物を読まなくても「南無妙法蓮華經」と唱えるだけで良いというものでした。この分かりやすさと、社会の悪を鋭く批判する日蓮の態度は、日々の生活に苦しむ民衆に強く支持されました。この支持によって、鎌倉新仏教は急速に広まりました。